



台風に備える

8月になると台風の季節がやってきます。最近の台風は大型のものが多くなってきました。これは地球温暖化によるもので、以前より海水面が温かい為に海上を移動する間台風が発達し、スーパー台風が生まれるそうです。発達する時に台風は大きな積乱雲を形成し、雲ができる時に生じる熱で空気が膨張する体積も増えるために気圧が下がり、強い風が吹く面積が現在より広がるという。



スーパーコンピューター「京」によると今世紀末には2割大きくなると試算されています（2017年の記述より）

巨大台風で起こる事

スーパー台風により被害は、去年の台風19号がもたらした被害は記憶に新しく、千葉では多くの家屋が強風により破壊され堤防の決壊により多くの市町村で洪水が起きました。この台風の最大瞬間風速は55m/s。降水量は神奈川県箱根で942mm（24時間雨量）もありました。また、水分を多く含んだ土は脆く各地で土砂災害を引き起こしました。

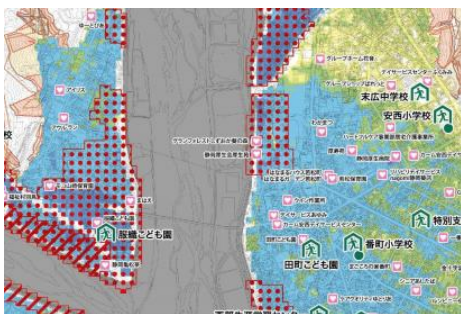


自分の住んでいる所の危険度を知ろう

皆さんはハザードマップをご存知ですか？ハザードマップとは地図上で様々な危険区域を色分けしたものです。例えば賤機山近辺にお住まいの方などはオレンジ色で塗られている場所があります。土砂災害特別警戒区域になります。海岸沿いの地域では津波浸水想定区域に色がついています。



今お住いの場所やご近所、避難場所までの経路にどのような危険リスクがあるのか必ず確認しておきましょう。



また大雨による河川の氾濫が予想される区域もハザードマップで確認できます。

この情報は市のホームページからも閲覧できるためパソコンやスマートフォンから見る事が出来ます。またパソコンをお持ちでない方は静岡市役所総務局 危機管理総室（054-221-1236）で配布していますのでお問合せ下さい。

やませいリフォーム

地元静岡で128年。地域の皆様に愛される企業を目指します！

株式会社 山清片山 リフォームチーム
静岡市葵区竜南3丁目16-18

☎0800-111-8030

やませい
リフォーム
HP



やませいリフォーム便り
バックナンバー





避難場所の確認

河川の氾濫は堤防以上に水位が上がってあふれ出す場合と堤防の決壊による氾濫があります。どちらも溢れ出したら家屋の倒壊も引き起こすほどの激流が押し寄せます。人は膝位の水流で歩行が不可能になります。



ハザードマップを日頃から確認し避難場所までの順路や時間を覚えておきましょう。

強風対策



強風や飛来物により窓ガラスが割れてしまうことがあります。窓ガラスが割れてしまうと雨風の侵入やガラスの飛散など大変なことになります。そんな窓ガラスを守るには、後付けのシャッターや雨戸があります。シャッターや雨戸が取り付けられない場所では『強化ガラス』や『合わせガラス』への交換、また『強化フィルム』等の方法もあります。

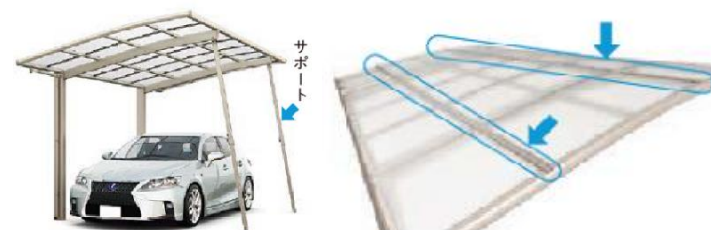
窓ガラスを保護すると同時に飛来物を置かないなど台風前の準備も大切です。

屋根対策



台風の後いちばん修理依頼が多いのは屋根です。屋根には瓦やスレート、板金など様々な種類がありますが板金屋根やスレート瓦の場合は板金や金物の錆び等で強度が弱くなっている場合があります。また隙間から強風が入り込みめくれてしまうことがあります。瓦屋根では番線の切れや錆などで棟が外れ屋根瓦がズレてしまうことがあります。数年に一度の屋根の点検をしましょう。また防災瓦や軽量瓦などに葺き替えておくこともおすすめです。

カーポート対策



またカーポートの屋根が飛んでしまった等の被害もあります。カーポートには耐風強度があります。強度の確認をして設置しましょう。またサポート柱やポリカ屋根を上から押さえる部材もオプションで取付ける事が出来ます。

やませいリフォーム

地元静岡で128年。地域の皆様に愛される企業を目指します！

株式会社 山清片山 工事・リフォーム部

静岡市葵区竜南3丁目16-18 TEL:054-246-3112

フリーダイヤル 0800-111-8030